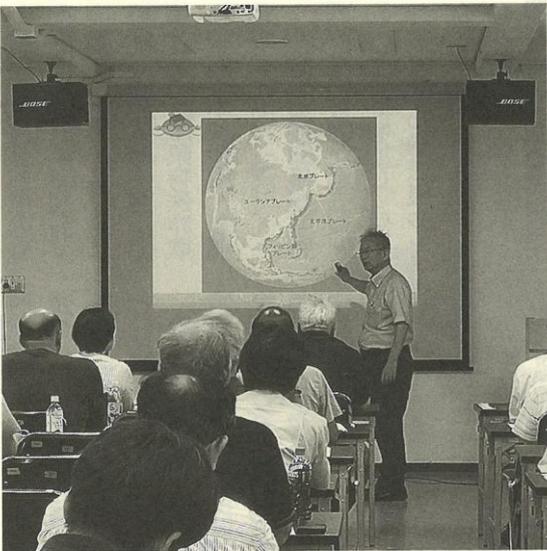


兵庫ジャーナル（令和7年9月15日）



**仕事帰りの市民が熱心に聴講
ひょうご講座2025が盛況開講**

9月1日、兵庫県中央労働センター（神戸市中央区）で、「命を守る地球を守る」をテーマに、名古屋大学名誉教授の福和伸夫氏による講座「南海トラフ地震対策と防災庁」が行われた。これは「ひょうご講座2025」一般コースで

全8回の「防災・復興」の第1回目で、講座全体の初日でもあった。開講時間が18時30分から20時とあって、仕事帰りの参加者たちが続々と訪れ、熱心に聞き入っていた。

ひょうご講座は一般コース（防災・復興、社会・地域、国際理解の3分野）とリカレントコース（データサイエンスとAI活用実習の2分野）があり、9月から12月にかけて5〜8回の講座を受講する。充実した内容と著名な講師陣が人気で、全てのコースが満席となっている。

（担当：（公財）ひょうご震災記念21世紀研究機構）